【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和3年9月2日(2021.9.2)

【公表番号】特表2020-528932(P2020-528932A)
 【公表日】令和2年10月1日(2020.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報2020-040
 【出願番号】特願2020-526686(P2020-526686)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/30 (2006.01)
 C 1 2 N 5/12 (2006.01)
 C 1 2 N 15/63 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 G 0 1 N 33/543 (2006.01)
 G 0 1 N 33/574 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 C 1 2 N 15/13 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/30 Z N A
 C 1 2 N 5/12
 C 1 2 N 15/63 Z
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 K 39/395 N
 G 0 1 N 33/543 5 4 5 A
 G 0 1 N 33/574 A
 G 0 1 N 33/53 V
 C 1 2 N 15/13

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月21日(2021.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

C D 9 P - 1 経路を阻害する、単離タンパク質。

【請求項2】

C D 9 P - 1 / スタビリン 1 経路および / または C D 9 P - 1 / T R A F - 2 経路を阻害する、請求項1に記載の単離タンパク質。

【請求項3】

C D 9 P - 1 の内部移行および / または分解を誘導する、請求項1 または2 に記載の単離タンパク質。

【請求項4】

C D 9 P - 1 と結合する、請求項1 ～3のいずれか1項 に記載の単離タンパク質。

【請求項 5】

全抗体、ヒト化抗体、一本鎖抗体、二量体一本鎖抗体、Fv、Fab、F(ab)'₂、脱フコシル化抗体、二特異性抗体、ダイアボディ、トライアボディ、テトラボディからなる群より選択される抗体分子、ユニボディ、ドメイン抗体およびナノボディからなる群より選択される抗体フラグメント、またはアフィボディ、アフィリン、アフィチン、アドネクチン、アトリマー、エパシン、DARPin、アンチカリン、アビマー、ファイノマー、パーサボディおよびデュオカリンからなる群より選択される抗体模倣物である、請求項 4 に記載の単離タンパク質。

【請求項 6】

ヒトCD9P-1 (配列番号34) 内のアミノ酸残基202~232の、またはヒトCD9P-1 (配列番号34) のアミノ酸残基202~232と少なくとも60%、70%、75%、80%、90%、95%、96%、97%、98%、99%の同一性を共有する配列の、少なくとも1つのアミノ酸残基と、

ヒトCD9P-1 (配列番号34) 内のアミノ酸残基422~442の、またはヒトCD9P-1 (配列番号34) のアミノ酸残基422~442と少なくとも60%、70%、75%、80%、90%、95%、96%、97%、98%、99%の同一性を共有する配列の、少なくとも1つのアミノ酸残基と、

ヒトCD9P-1 (配列番号34) 内のアミノ酸残基472~502の、またはヒトCD9P-1 (配列番号34) のアミノ酸残基472~502と少なくとも60%、70%、75%、80%、90%、95%、96%、97%、98%、99%の同一性を共有する配列の、少なくとも1つのアミノ酸残基と

を含む立体構造エピトープと結合する、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の単離タンパク質。

【請求項 7】

抗体分子または抗体フラグメントである、請求項 5 または請求項 6 に記載の単離タンパク質であって、

重鎖の可変領域が、以下のCDR：

VH-CDR1：GYTF TSYW (配列番号1)；

VH-CDR2：IFPGTGTT (配列番号2)；および

VH-CDR3：SRDFDV (配列番号3)

のうちの少なくとも1つのCDR、または配列番号1~3と少なくとも60%の同一性を共有するアミノ酸配列を有する任意のCDRを含み、かつ/あるいは

軽鎖の可変領域が、以下のCDR：

VL-CDR1：QSLLDIDGKTY (配列番号4)；

VL-CDR2：LVS；および

VL-CDR3：WQGTHLPRT (配列番号5)

のうちの少なくとも1つのCDR、または配列番号4、LVSおよび配列番号5と少なくとも60%の同一性を共有するアミノ酸配列を有する任意のCDRを含む、

単離タンパク質。

【請求項 8】

抗体分子または抗体フラグメントである、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の単離タンパク質であって、

重鎖の可変領域が、以下のCDR：GYTF TSYW (配列番号1)、IFPGTGTT (配列番号2) およびSRDFDV (配列番号3) を含み、軽鎖の可変領域が、以下のCDR：QSLLDIDGKTY (配列番号4)、LVS およびWQGTHLPRT (配列番号5)、または前記配列番号1~5 およびLVS と少なくとも60%の同一性を共有するアミノ酸配列を有する任意のCDRを含む、

単離タンパク質。

【請求項 9】

抗体分子または抗体フラグメントである、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の単離タ

ンパク質であって、

重鎖可変領域のアミノ酸配列が配列番号6であり、配列中、 X_1 がQまたはRであり、 X_2 がRまたはGであり、 X_3 がTまたはAであり、 X_4 がSまたはTであり、軽鎖可変領域のアミノ酸配列が、配列番号7であり、配列中、 X_5 がPまたはLであり、 X_6 がSまたはFであり、 X_7 がSであるか、存在しない、または前記配列番号6～7と少なくとも60%の同一性を共有するアミノ酸配列を有する任意の配列である、
単離タンパク質。

【請求項10】

抗体分子または抗体フラグメントである、請求項9に記載の単離タンパク質であって、配列番号6の X_1 がRであり、 X_2 がRであり、 X_3 がTであり、 X_4 がTであり（配列番号8）、かつ/または配列番号7の X_5 がLであり、 X_6 がSであり、 X_7 がSである（配列番号24）、
単離タンパク質。

【請求項11】

抗体分子または抗体フラグメントである、請求項9に記載の単離タンパク質であって、配列番号6の X_1 がQであり、 X_2 がRであり、 X_3 がTであり、 X_4 がTであり（配列番号11）、かつ/または配列番号7の X_5 がLであり、 X_6 がSであり、 X_7 がSである（配列番号24）、
単離タンパク質。

【請求項12】

請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、組成物。

【請求項13】

請求項1～11のいずれか1項に記載の単離タンパク質を含む、癌の治療のための医薬組成物。

【請求項14】

生体試料中のCD9P-1を検出するための、請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質の使用。

【請求項15】

請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質を用いる、生体試料中のCD9P-1の存在を判定するための *in vitro* の診断アッセイまたは予後予測アッセイ。

【請求項16】

抗体分子または抗体フラグメントである請求項5～11のいずれか1項に記載のタンパク質を少なくとも1つ含む、キット。

【請求項17】

CNCM I-5213およびCNCM I-5214で登録されているヒトCD9P-1に対する抗体を産生する、ハイブリドーマ細胞系。

【請求項18】

必要とする対象において癌細胞のアポトーシスを誘導するための組成物であって、請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、組成物。

【請求項19】

必要とする対象においてM2マクロファージのM1マクロファージへの再分極化を誘導するための組成物であって、請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、組成物。

【請求項20】

必要とする対象において免疫応答および/または炎症性応答を誘導するための組成物であって、請求項1～11のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、組成物。